

## 友達のよさを新たに見つけるエクササイズ

### ～ いいところ紹介ごっこ ～

#### ■ 準備

- ・ A 4 用紙（人数分）

#### ■ ねらい

- ・ 年度初めに、初めてであった担任に友達のよいところを紹介することで、友達のよさを、改めて見つめることができる。

#### ■ 実施できる時間

- ・ 学級活動

#### ■ 展開例

- ① A 4 用紙の一番上に自分の名前を書き，下の八つの枠には自分以外の友達の名前を書く。
- ② 輪になって座り，時計回りに紙を渡す。
- ③ 回ってきた友達の紙に，自分の名前の欄に，その友達のよいところを書く。
- ④ 一周したら，その紙に書かれていることを担任の先生に読んであげる。誰が書いた自分のよいところかも読み上げる。

<資料：「いいところ紹介ごっこ」振り返りカード>

ふりかえりカード

\_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ( )

## いいところ紹介ごっこ

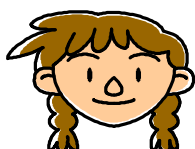
### 1 今日の活動はどうでしたか。

楽しかった

まあまあ楽しかった

あまり楽しくなかった

楽しくなかった



### 2 友達のいい所・はじめて知った一面について書きましょう。

名前	いい所・初めて知ったところ
	<hr/>
	<hr/>
	<hr/>

### 3 どんなことでもいいです。感じたことを書きましょう。

● 友達のよさをじっくりと見つめることで、友達を認める気持ちを高めるエクササイズ ●

～ 友達合わせゲーム ～

■ 準備

- ・ トランプ大の色画用紙（人数×5枚）
- ・ 鉛筆（グループの人数分）

■ ねらい

- ・ 友達のよいところを見つめるとともに、他者から見た自分のよさに気付くことができる。

■ 実施できる時間

- ・ 学級活動

■ 展開例

- ① トランプ大の用紙を一人五枚ずつ配る。
- ② 一人一人、いいところを書く相手が違うようにする。
- ③ ある子供のいいところをその紙の一つずつ書く。他の子供と同じ色にならないように色鉛筆の色を変えて書く。
- ④ 全員分（九人）を集め、シャッフルし、配る。
- ⑤ 「友達あーわせ」というかけ声とともに、時計回りの方向に一枚カードを渡す。五枚とも同じ色にそろったら「みつけた。」と大きな声で言う。
- ⑥ そろった子供は、そのカードに書かれている五つのよさから連想する友達の名前を発表する。
- ⑦ グループの中に、そのカードを書いた子供がいるはずなので、もし当たっていれば「あーたり」と言う。はずれなら、何も言わない。
- ⑧ これを繰り返す。

<資料：「友達合わせ」振り返りカード>

ふりかえりカード

月 日 ( )
---------

# 友達合わせ

名前
----

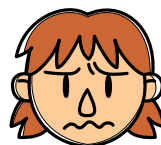
## 1 今日の活動はどうでしたか。

楽しかった

まあまあ楽しかった

あまり楽しくなかった

楽しくなかった



## 2 友達のはじめて知った一面と共感したことについて書きましょう。

名前	はじめて知った新たな一面と共感したこと
	<hr/> <hr/>
	<hr/> <hr/>
	<hr/> <hr/>

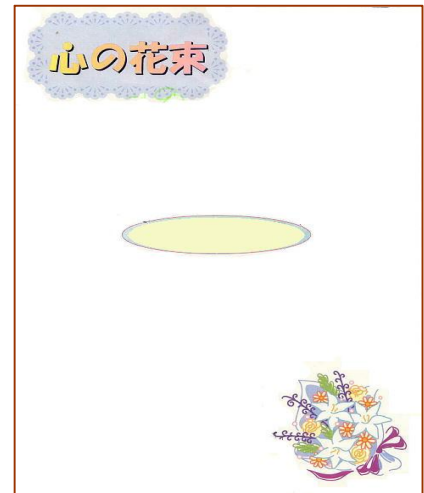
## 3 どんなことでもいいです。感じたことを書きましょう。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
-------------------------------

～ ○○で賞 ～

■ 準備

- ・ 表彰状（右図）



■ ねらい

- ・ 運動会などの行事を終え、互いに労をねぎらい、たたえ合うことを通して学級として温かい雰囲気をつくる。

■ 実施できる時間

- ・ 学級活動

■ 展開例

<ポイント>

- ・ 行事を行う前に、「こんな子すごい子」と題し、よい行動の具体的な姿を子供たちから出させる。そして、それをB紙に書いて教室に掲示する。そうすることで、具体的なよい行動が分からない子供でも、意識して友達を見つめることができる。

<行事後>

- ① 輪になって座る。
- ② 心の花束カードを一人一枚ずつ配る。
- ③ 真ん中に自分の名前を書き、時計回りに紙を送り、真ん中に名前が書いてある友達の頑張っていたこと、よかったところを書く。最後に自分の名前を書く。
- ④ 一回りして自分の所に戻ってきたら。書かれていることをじっくりと読む。
- ⑤ 感想交流を行う。

～ ムシムシ教室の席替え ～

■ 準備

- ・ 指示書（グループ一枚）
- ・ 座席表（グループ一枚）
- ・ 情報カード（グループ1セット）
- ・ ムシカード（グループ1セット）
- ・ 正解（グループ一枚）
- ・ 振り返りカード（一人一枚）

■ ねらい

- ・ 人の話をよく聞いたり，タイミングよく話したりすることの大切さを体験する。
- ・ 様々な情報を集め，まとめる方法を体験する。

■ 実施できる時間

- ・ 学級活動

■ 展開例

- ① 4～5人のグループに分け，机を囲んですわる。
- ② <指示書><座席表><情報カード><ムシカード>を配り，<指示書>を読む。
- ③ 情報カードを裏にして，グループ全員に配る。
- ④ 情報カードは他人には見せない。内容は言葉で伝える。
- ⑤ グループで話し合っ，ムシムシ君の座席を考える。
- ⑥ 答え合わせをする。
- ⑦ 振り返りカードを書き，気付いたことを話し合う。

## 指示書

ムシムシ小学校の教室の子供たちが、席がえをしました。

でも、先生には

だれが、どこの席にいるか分かりません。

みなさんで話し合っ

正しい席を教えてください。

## 話し合いのやくそく

- 1 人のカードを見たり、自分のカードを人に見せたりしてはいけません。
- 2 全員が分かるまで、話し合ってください。
- 3 答えが分かったら、座席表に<ムシカード>をおいて、手をあげてください。

## 情報カード

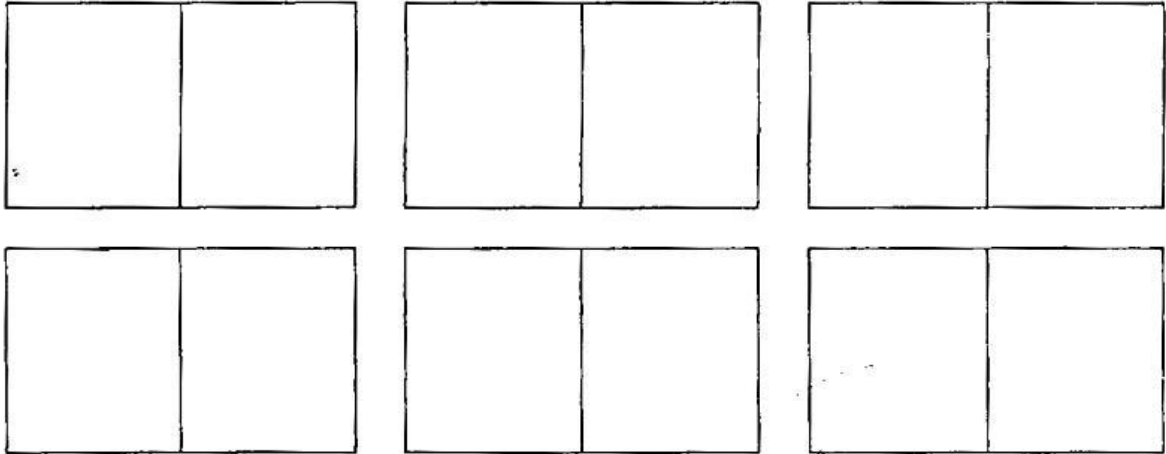
1 はたらきものの アリさんは、ハエさんのとなりです。	2 オトシブミさんの 席は、かどにあります。
3 オトシブミさんは、教室の うしろの落とし物をよく拾います。	4 きれいずきな子は、前の窓ぎわです。
5 トンボさんは、となりの人が ダンスが上手なので、びっくりしました。	6 カマキリさんは、よく となりのコオロギさんに、はさみをかります。
7 教室の左側に、まどがあります。	8 トンボさんの前の人、水泳がとくいです。
9 ハチさんは、はたらきものです。	10 コオロギさんの席は、かどにあります。
11 ハエさんは きれい好きで、よくそうじをしています。	12 カマキリさんは、うしろの子の歌がいいなあと思っています。
13 チョウさんは、ダンスが上手です。	14 セミさんは 歌が好きで、よく歌います。
15 ゲンゴロウさんは、水泳がとくいです。	16 カブトムシさんは、右どなりのクワガタさんとよく すもうをします。
17 はたらきものの二人は、つうろをはさんで となりどうしです。	18 カブトムシさんの席は、かどにあります。



<資料：「ムシムシ教室の席替え」 座席表・ムシカードと正解>

ざ せき ひょう  
座 席 表

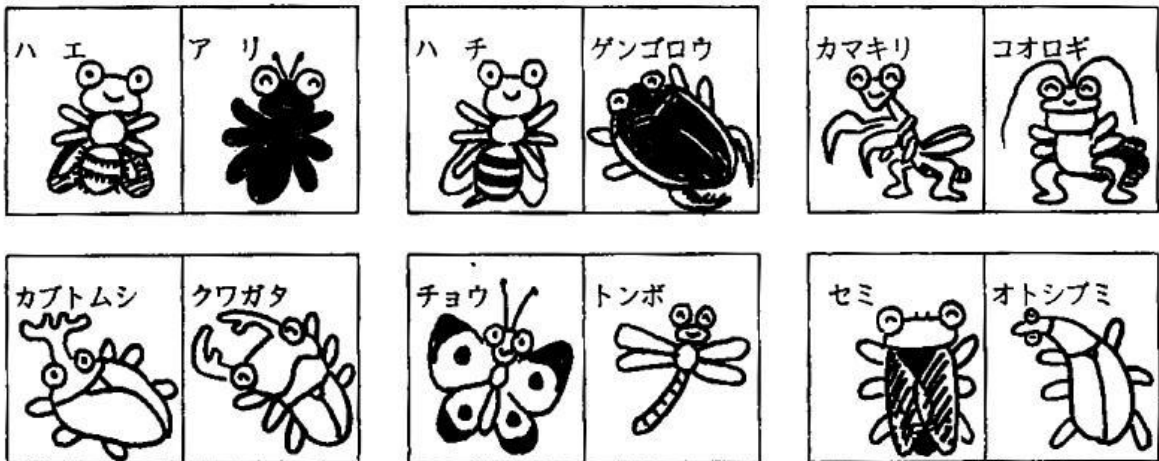
せんせい



きりとり

せい かい  
正 解

せんせい



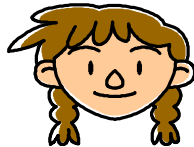
ふりかえりカード

\_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ( )

## ムシムシ教室の席替え

### 1 今日の活動はどうでしたか。

楽しかった      まあまあ楽しかった      あまり楽しくなかった      楽しくなかった



### 2 人の話をよく聞けましたか？

① よく聞けた。      ② まあまあ聞けた      ③ あまり聞けなかった      ④ ぜんぜん聞けなかった

### 3 よく話せましたか？

① よく話せた。      ② まあまあ話せた      ③ あまり話せなかった      ④ ぜんぜん話せなかった

### 4 協力することができましたか？

① とても協力できた      ② まあまあ協力できた      ③ あまり協力できなかった      ④ ぜんぜん協力できなかった

### 5 「ムシムシ教室の席替え」をして、他によかったことや、気付いたことを書いてください。

～ 1秒の言葉 ～

■ 準備

- ・ 「1秒の言葉：問題カード」を印刷した用紙（一人一枚）
- ・ 「1秒の言葉：正解・感想カード」

■ ねらい

- ・ 言葉のもつ意味を考え、友達を励ます言葉や、簡単に友達が傷つく言葉について気付くことができる。

■ 実施できる時間

- ・ 学級活動

■ 展開例

- ① 紙を配り、以下のことについて書かせる。
- ② 普段使っている1秒の言葉を発表する。
- ③ 今まで言われた言葉でうれしくなった言葉は誰から言われたどんな言葉かを発表する。
- ④ 逆に悲しくなった言葉を発表する。
- ⑤ やる気になった言葉についても発表する。虫食い部分の言葉を考える。
- ⑥ 小泉吉宏の「1秒の言葉」の虫食いのプリントを渡す。
- ⑦ 「 」部分を考え、書き込ませる。
- ⑧ I～VIを発表する。

1秒の言葉

小泉吉宏 作

「 I 」  
この1秒ほどの短い言葉に、  
一生のときめきを感じることもある。

「 II 」  
この1秒ほどの短い言葉に、  
人のやさしさを知ることがある。

「 III 」  
この1秒ほどの短い言葉で、  
勇気がよみがえってくることもある。

「 IV 」  
この1秒ほどの短い言葉で、  
幸せにあふれることがある。

「 V 」  
この1秒ほどの短い言葉に、  
人の弱さを見ることがある。

「 VI 」  
この1秒ほどの短い言葉が、  
一生の別れになるときがある。  
1秒に喜び、1秒に泣く。  
一生懸命、1秒。

### 1秒の言葉

小泉吉宏 作

「 I 」

この1秒ほどの短い言葉に、  
一生のときめきを感じることもある。

「 II 」

この1秒ほどの短い言葉に、  
人のやさしさを知ることがある。

「 III 」

この1秒ほどの短い言葉で、  
勇気がよみがえってくることもある。

「 IV 」

この1秒ほどの短い言葉で、  
幸せにあふれることもある。

「 V 」

この1秒ほどの短い言葉に、  
人の弱さを見ることがある。

「 VI 」

この1秒ほどの短い言葉が、  
一生の別れになるときがある。  
1秒に喜び，1秒に泣く。  
一生懸命，1秒。

1 詩の中の I ～VIに入る言葉を考えましょう。

I	II	III
IV	V	VI

正解

### 1秒の言葉

小泉吉宏 作

「はじめまして」

この1秒ほどの短い言葉に、  
一生のときめきを感じることもある。

「ありがとう」

この1秒ほどの短い言葉に、  
人のやさしさを知ることがある。

「がんばって」

この1秒ほどの短い言葉で、  
勇気がよみがえってくることがある。

「おめでとう」

この1秒ほどの短い言葉で、  
幸せにあふれることがある。

「ごめんなさい」

この1秒ほどの短い言葉に、  
人の弱さを見ることがある。

「さようなら」

この1秒ほどの短い言葉が、  
一生の別れになるときがある。  
1秒に喜び，1秒に泣く。  
一生懸命，1秒。

1 今日の感想を書きましょう。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
-------------------------

～ 詩を読もう ～

■ 準備

- ・ 課題シート（グループ用とメンバー用）
- ・ 振り返りカード

■ ねらい

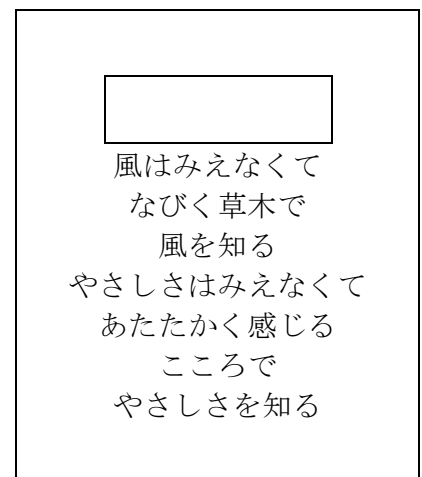
- ・ 自分の考えを積極的に話し、友達の見解をよく聞くことで、グループ内の話し合いによる合意を行う力を身に付ける。

■ 実施できる時間

- ・ 国語科 ・ 学級活動

■ 展開例

- ① 題名のない詩（右図）をひとり一枚ずつ配る。
- ② 詩の題名を各自で考える。
- ③ その題名にした理由を書く。
- ④ 三人ずつのグループになり、グループとして詩の題名を決定する。その際、多数決ではなく話し合いで決める。
- ⑤ 詩の題名とその理由を発表する。
- ⑥ 振り返りカードを書く。



<資料：「詩を読もう」課題シート>

## 課題シート（メンバー用）

年 月 日 名前

一人で考えて選びましょう。

次に、詩に題名を付けてみましょう。

その題名にしたわけも考えましょう。

< 題名 >

風は見えなくて

なびく草木で

風を知る

やさしさは見えなくて

あたたかく感じる

こころで

やさしさを知る

\*なびく：ゆらゆらゆれて、横になること。

その題名にしたわけ

<資料：「詩を読もう」課題シート>

## 課題シート（グループ用）

年 月 日 名前

グループのみんなで題名とそのわけを話し合って決めましょう。

【ルール1】 多数決ではなく、話し合いで決めてください。

【ルール2】 時間までに決めてください。

【ルール3】 時間は20分間です。

名 前	題 名	そのわけ（かんたんにメモをしましょう）

### グループ決定

題 名	
そのわけ	



<資料：「詩を読もう」振り返りカード>

ふりかえりカード

\_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ( )

## 詩を読もう

1 グループの中で、すすんで考えを言えましたか？

- ① すすんで言えた    ② まあまあ言えた    ③ あまり言えなかった    ④ ぜんぜん言えなかった

2 友達の考えを、すすんで聞けましたか？

- ① すすんで聞けた    ② まあまあ聞けた    ③ あまり聞けなかった    ④ ぜんぜん聞けなかった

3 友達は、あなたの考えを聞いてくれましたか？

- ① 聞いてくれた    ② まあまあ聞いてくれた    ③ あまり聞いてくれなかった  
④ ぜんぜん聞いてくれなかった

4 みんなと話し合うとき、どんなことに気を付けるとよいと思いますか？

5 「詩を読もう」をして、他によかったことや、気付いたことを書いてください。

～ 以心伝心（らしさ、とは） ～

■ 準備

- ・ B5サイズの画用紙（一人5～6枚）

■ ねらい

- ・ 高学年らしさについての認識は一人一人違う。それぞれが考える「らしさ」をお互いに知り合うことで、高学年としての気持ちを高める。

■ 実施できる時間

- ・ 学級活動

■ 展開例

- ① 5年生と6年生それぞれがグループを作る。
- ② 「高学年らしい行動」について、具体的な場面を出し合う。  
例) 「運動会当日の行動」「委員会活動の中で」「掃除中」など
- ③ それぞれの場面について、「高学年らしい行動」を一人一人紙に書く。
- ④ 「せーのっ」の合図で、どちらかの学年が一斉に紙を見せる。
- ⑤ 紙に書いた「高学年らしい行動」を説明する。
- ⑥ そろった人数が多いほど、得点が高い。
- ⑦ その得点を競う。
- ⑧ もう一方の学年が発表する。
- ⑨ 場面毎に数回、発表し合う。
- ⑩ カードは、黒板に貼り、ゲーム終了後に見る。
- ⑪ 振り返り活動をする。

<資料：「以心伝心」振り返りカード>

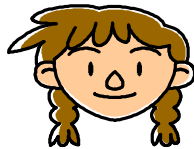
ふりかえりカード

\_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ( )

## 以心伝心「らしさ、とは」

### 1 今日の活動はどうでしたか。

- ① 楽しかった      ② まあまあ楽しかった      ③ あまり楽しくなかった      ④ 楽しくなかった



### 2 人の話をよく聞けましたか？

- ① よく聞けた      ② まあまあ聞けた      ③ あまり聞けなかった      ④ ぜんぜん聞けなかった

### 3 よく話せましたか？

- ① よく話せた      ② まあまあ話せた      ③ あまり話せなかった      ④ ぜんぜん話せなかった

### 4 友達の考えを聞いた感想を書きましょう

### 5 これからの生活で生かしたいことを書きましょう。

～ 上手な断り方 ～

■ 準備

- ・ 断り方カード
- ・ 上手な断り方チェックカード・振り返りカード

■ ねらい

- ・ 自分の意志できちんと断るための技術と、その正当性を学ぶことができる。
- ・ 友達に何か頼まれたときに、相手を傷つけないように断るテクニックを学ぶ。

■ 実施できる時間

- ・ 学級活動

■ 展開例

- ① 「謝罪」「断る理由」「断りの表明」「代わりの意見」の四つの段階を知る。
- ② 「断り方カード」に書かれている「友達の誘いを断れずにいる子供」の気持ちになって、断るせりふを書く。
- ③ そのせりふを発表する。
- ④ 「断り方カード」四つの段階に断る言葉を書き込む。
- ⑤ 四人組になって、断る練習をする。断りの言葉を言う子供以外は「チェックリスト」を使って評価する。
- ⑥ 全員が言うまで繰り返す
- ⑦ 振り返りカードに記入後、シェアリングを行う。

<資料：「上手な断り方」断り方カード>

## 断り方カード

年 月 日 名前

- 1 右の絵の場面で友達から「一緒に遊ぼう」と誘われています。もじもじしている子供、きつく断る子供がいます。どんな断り方がいいか、考えて、書きましょう。



- 2 断るときのせりふを考えてみましょう。

	例	考えたせりふ
謝罪	ごめんね 一緒に遊びたいと思うんだけど 私をさそってくれて、うれしいんだけど	
断る理由	時間がないから 私にはできないことだから それはいけないと思うから	
断りの表明	私は、遊びたくない 今、遊べない	
代わりの意見	今日はだめだけど、明日なら 〇〇さんならいいと言ってくれるよ その遊びではなく・・・	

# 上手な断り方

## チェックカードと振り返りカード

1 断り方はどうですか。友達の様子を見て、よくできたところは○、もう少しのところは△を書き込みましょう。最後に、友達から聞いた自分の様子を書き込みましょう。

心を伝える話し方	グループの人の名前		
1 声の大きさ			
2 相手を見て話す			
3 おだやかで真剣な表情			
4 相手との距離			

2 「上手な断り方」は、どうすれば よいか分かりましたか？

- ① よく分かった    ② まあまあ分かった    ③ あまり分からない    ④ ぜんぜん分からない

3 今日の授業をやってみてどんなことを感じましたか？

## ● 家族愛の気持ちを高めるためのエクササイズ ●

～ 今、元気に生きています ～

### ■ 準備

- ・ 「ぼく・私の歴史カード」
- ・ 家族からの手紙
- ・ 便せん
- ・ ワークシート
- ・ 振り返りカード
- ・ BGM（静かな音楽）

### ■ ねらい

- ・ 自分の今までの成長と、友達の成長を保護者の視点から見つめることで、家族に感謝し、家族を大切にしようという気持ちを高める。

### ■ 実施できる時間

- ・ 学級活動

### ■ 展開例

- ① 事前に保護者宛に子供たちの成長について「ぼく・私の歴史」カード（右図）を書いてもらう。
- ② カードを集約し、誰のことが書かれたカードかわからないようにする。
- ③ 数人のグループに分かれ、グループ以外の友達のカードを配る。
- ④ グループで相談しながら、誰のことが書かれたカードかを話し合う。
- ⑤ 答え合わせをする。
- ⑥ 振り返りカードに記入し、シェアリングを行う。
- ⑦ 家族からの手紙を読む。
- ⑧ 家族に宛てた手紙を書く。

	出来事	思ったこと
妊娠中	お母さんのお腹の中で動く子供に触った時	お母さんのお腹の中で動く〇〇を感じると、どんな子が生まれてくるか、元気で産まれてくれるか、とても幸せな気持ちになりました。
産まれた時	陣痛が始まってから産まれるまでに約3時間かかった。 4500gの健康な赤ちゃん	はやく産まれて、とにかく元気に産まれてほしいと思った。  (父) 大きな赤ちゃんにびっくり。健康な子に育ってほしいと願った。
3歳まで	崖から落ちて、大けがをした。	〇〇が頭から血を流していてとても心配をした。
1・2年生の頃	入学式	毎日元気よく学校に行ってくれたので、うれしかった。

<資料：「今、元気に生きています」私の歴史カード>

## 私の歴史カード

名前 \_\_\_\_\_

	出来事	思ったこと
妊娠中		
産まれた時		
3歳まで		
小学校入学まで		
1・2年生の頃		
3・4年生の頃		
5・6年生の頃		



平成〇年〇月〇日

保護者の皆様

担任 ○○ ○○

## 「私の歴史」と「手紙」の原稿依頼

こののこについて、下記のように原稿の執筆をお願いします。

### 記

#### 1 内容

来週末の道徳の授業で「家族愛」について勉強をします。お子様一人一人の今までの成長の足跡と、保護者の皆様の苦労や願いについて考えさせようと思っております。そこで、大変お忙しい時とは思いますが、次の①と②の原稿を書きたくていただきたいと思います。

- ① 「私の歴史カード」・・・お子様と一緒に書いてください。（下記の記入例を参考に）
- ② 「子どもへの手紙」・・・お子様には絶対に見せないでください。この手紙の存在も知らせないでください。同封の便せんを御利用ください。  
手紙の内容は、産まれてから、今までの思い出と、これからの思いをお書き頂けると幸いです。

#### 2 提出期日

〇月〇日（〇）

#### 3 提出方法

- ① 「私の歴史カード」・・・お子様に渡してください。
- ② 「子どもへの手紙」・・・同封の封筒に入れ中身が分からないようにして、お子様を通して担任まで提出してください。

### 記入例「私の歴史カード」

	出来事	思ったこと
妊娠中	お母さんのお腹の中で動く子供を触った時	(父) お母さんのお腹の中で動く〇〇を感じると、どんな子が生まれてくるか、元気で産まれてくれるか、とても幸せな気持ちになりました。
産まれた時	陣痛が始まってから産まれるまでに約3時間かかった。	(母) はやく産まれて、とにかく元気に産まれてほしいと思った。
	4500gの健康な赤ちゃん	(父) 大きな赤ちゃんにびっくり。健康な子に育てほしいと願った。

# 「大切な命」

## ワークシート

名前 \_\_\_\_\_

1  番の友達は、  だと思います。

その理由は

だからです。

2 グループで話し合ってみましょう。そして、下の表を完成させましょう。

番号	予想した名前	予想した理由



# 「大切な命」

## 振り返りカード

月 日

名前 \_\_\_\_\_

1 今日の活動はどうでしたか？

とてもためになった



( )

ためになった



( )

あまりためにならなかった



( )

ためにならなかった



( )

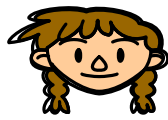
2 自分の考えを話すことができましたか？

よく話せた



( )

話せた



( )

あまり話せなかった



( )

話せなかった



( )

3 友達の話を聞くことができましたか？

よく聞いた



( )

聞いた



( )

あまり聞けなかった



( )

聞けなかった



( )

4 「友達の歴史」や「私の歴史」を読んでみて、家族はどんな気持ちでみなさんと一緒に生活していると思いますか？感じたことを書いてみましょう。

## ● 自分の考えをきちんと伝えることを鍛えるエクササイズ ●

～ ヘエヘエ 伝えよう自分の考え ～

### ■ 準備

- ・ 採点カード
- ・ 振り返りカード

### ■ ねらい

自分の考えを相手に納得させることを目的とし、積極的に自分の考えを主張する力を養う。

### ■ 実施できる時間

- ・ 学級活動

### ■ 展開例

- ① 二、三人のグループになる。
- ② 国語（教科学習）の学習の終わりで「自分の思ったこと」を相手に納得してもらうことを伝える。
- ③ 自分の考えを相手に納得してもらえるように、様々な根拠を挙げて説得する。時間は1分間。
- ④ 聞き手は、話し手の顔を見て、納得する場面では大きくうなずきながら「へえ、へえ」と言う。
- ⑤ 1分で時間を切り、聞き手は話し手の説明を10点満点で採点する。また、カードによいところを1つ以上書く。
- ⑥ グループ内で順番に一回りする。
- ⑦ 採点カードをお互いに渡し、振り返りをする。

<資料：「へえへえ 伝えよう自分の考え」振り返りカード>

\_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ( )

振り返りカード

名前 \_\_\_\_\_

## へえへえ 伝えよう自分の考え

1 今日の活動は楽しかったですか。

- ① とても楽しかった    ② 楽しかった    ③ あまり楽しくなかった    ④ ぜんぜん楽しくなかった

2 今日の学習は役に立ちそうですか？

- ① とても役立つ    ② 役立つ    ③ あまり役立たない    ④ ぜんぜん役立たない

3 友達を説得することはどうでしたか。感想を書きましょう。

～ 紙芝居を作ろう ～

■ 準備

- ・ A 5 サイズの画用紙（一人一枚）
- ・ クレヨン
- ・ フィッシュボーンが書かれた用紙（グループで一枚）

■ ねらい

- ・ グループ内で自分の考えを積極的に出し合い、一つのものにまとめていく楽しさを味わうことができる。

■ 実施できる時間

- ・ 学級活動

■ 展開例

- ① 四、五人のグループに分ける。
- ② 一人一枚ずつ A 5 サイズの画用紙を配り、グループで紙芝居を作ることを伝える。
- ③ 担任が紙芝居のタイトルと一枚目と最後の場面を発表する。
- ④ そのタイトルと最初と最後の場面から連想される物語をグループで話し合い、一人一場面を描く。
- ⑤ 「必ず一人一場面を作る」ので、一人一つ以上の場面のアイデアを出す。リーダーはフィッシュボーンの絵（右）の四角部分に場面を書き込んでいき、ストーリーの流れをまとめる。そして、魚を完成させる。
- ⑥ ストーリーができたら、各場面の絵と、せりふは一人一人で作成する。
- ⑦ 完成したら、学級で発表をする。

